

プロセス4 夢を実現させる(創る)

【行動計画P. 11～18】

項目	事業名	担当課	(1)令和5年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果、理由(問題点)	基準値 (R3)	目標値 (R9)	現状値 (R5)
				①～⑦					
(1)市事業への「協働」の導入推進	文書配布業務の効率化	市民協働推進課	自治会長負担軽減のため、文書量の削減に取り組んでいる。安全性向上及び効率化のため配送業務を外部委託とした。	⑤	B	安全で円滑な文書配布が実施できた。	評価の実施 実施	評価の実施 充実	評価の実施 実施
	男女共同参画フォーラム	市民協働推進課	実施日:令和5年12月13日(水) 内容:講演、抽選会 講師:笠井 信輔 氏 参加者:149名	②	A	開催内容、方法含め検討していく必要がある。	フォーラムの実施 中止	フォーラムの実施 充実	フォーラムの実施 充実
	中・高校生に対するDV防止のための啓発	市民協働推進課	高校生出前講座を市内高校4校にて開催した。内容はデートDVとし、地域推進員と協働でこれから社会に出る高校生に対しデートDV防止の啓発ができた。	②	B	地域推進員の参加者が少なかった。さらに協力を要請する必要がある。	セミナーの実施 中止	セミナーの実施 充実	セミナーの実施 実施
	市希少野生動植物の保護に関する条例の運用	環境課→ネイチャーポジティブ課	○那須塩原市動植物調査研究会全体会議 日時:令和5年6月9日	②	D	令和4年度に生息地保全協定区域が1増えた後は、区域数が伸びていない。目標数実現に向け、さらに協力を要請する必要がある。	生息地等 保全協定区域 18区	生息地等 保全協定区域 25区	生息地等 保全協定区域 19区
	廃棄物減量等推進員(ごみ減量推進員)制度の運用	廃棄物対策課→サーキュラーエコノミー課	・第1回研修会(役割及び市の現状等を説明) 日時:令和5年5月11日(木)及び12日(金) ・第2回研修会 日時:令和5年11月21日(火)	①	A	ごみ減量推進員が地域で行う活動を支援し、知見の増加や疑問の解決に寄与した。	活動の支援 実施	活動の支援 充実	活動の支援 充実
	民生委員・児童委員活動支援	社会福祉課	那須塩原市民生委員児童委員協議会連合会への補助金の交付及び事務局の運営	②	B	補助金の交付及び事務局の運営を滞りなく行うことができた。全体研修や新年研修を開催し、委員の資質向上を図ることができた。	連合会運営費 補助金の交付 交付	連合会運営費 補助金の交付 充実	連合会運営費 補助金の交付 充実
	生活困窮者自立支援事業	社会福祉課→生活福祉課	自立相談支援事業業務委託 (生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、生活困窮者に対する支援の種類及び内容等を記載した計画の作成、各種施策・福祉サービス等の利用のあっせん等様々な支援を一体的かつ計画的に行い、生活困窮者の自立の促進を図る。)	③	B	就労支援の他、家計改善や住居確保など、生活困窮者の状況に合わせた相談や支援を行うことができた。	自立相談支援 実施	自立相談支援 実施	自立相談支援 実施

(1) 市事業への「協働」の導入推進	ファミリーサポートセンターの運営	子育て支援課	子育ての援助を受けたい人と子育ての援助を行える人を会員として組織し、会員同士が行う子育ての援助活動を支援することにより、安心して子育てができる環境を整備する。	②	A	相手先と連携し、滞りなく事業を実施し、安定した子育ての援助活動ができた。子育てサロンでの預かりを開始し、より利用しやすい環境を整えた。	サポート率 100%	サポート率 100%	サポート率 100%
	議場コンサート	議事課	【第17回議場コンサート】 開催日：令和5年6月1日 演奏者：betterstance(アコースティックユニット) コンサート傍聴者：28人 【第18回議場コンサート】 開催日：令和5年11月27日 演奏者：B.B.Q(金管五重奏) コンサート傍聴者：33人	①	C	議場でコンサートを開催することで、市民の方々が議場へ足を運び、議会を傍聴するきっかけづくりになった。傍聴者アンケートでは、コンサートを傍聴の理由とする回答が増えた。 また、那須地区で活動するアーティストの情報発信の場の提供につながった。	傍聴者数 0人	傍聴者数 92人	6月定例会 傍聴者数 28人 12月定例会 傍聴者数 33人
	学校評議員制度	学校教育課	・各小中学校等において、評議員会を1～3回実施、内容を市教育委員会へ報告。 ・学校評議員から出た意見等は、学校運営に反映させる。	①	B	学校・家庭・地域の協力関係を高めるとともに地域社会に開かれた学校づくりを推進出来ている。	学校評議員を対象にしたアンケート調査における「地域社会に開かれた学校づくり」(仮)に関する肯定的回答率 未実施	学校評議員を対象にしたアンケート調査における「地域社会に開かれた学校づくり」(仮)に関する肯定的回答率 90%以上	学校評議員を対象にしたアンケート調査における「地域社会に開かれた学校づくり」(仮)に関する肯定的回答率 未実施
	20歳の集い(旧「成人式」)	生涯学習課	実行委員による「20歳の集い」の開催 開催日：令和6年1月7日(日) 場所：大正堂くろいそみるひいホール、GUNEI三島ホール、ハロープラザ 参加者：935人 内容：式典及び実行委員作成の記念動画上映、	①	B	20歳の節目を祝うとともに、社会人としての自覚と責任、社会に参画する意識の高揚を図ることができた。	参加率 71%	参加率 77%	参加率 76%
	少年指導員の巡回指導事業	生涯学習課	巡回指導活動等の実施 通常巡回指導回数：295回、延人数：1,009人 特別巡回指導回数： 5回、延人数： 71人	①⑤⑦	A	指導員向けの研修として、視察研修を数年ぶりに開催することができた。また、巡回の有り方について意見交換会を開催し、次年度の実施方法の変更について協議・計画策定ができた。	少年指導員による「愛の声かけ」人数 526人	少年指導員による「愛の声かけ」人数 1,500人	少年指導員による「愛の声かけ」人数 1,020人
	マイ・チャレンジ事業	生涯学習課	生徒受け入れ事業所の開拓と受け入れ可能事業所のリストの作成	①③④	B	効果 事業所確保に向け、新規に様々な事業所に声掛けをし、昨年度の191件から218件へと事業所数が27件増加した。	延べ新規受入事業所数 未実施	延べ新規受入事業所数 20事業所	延べ新規受入事業所数 27事業所
(2) 市民が実践する「協働」事業の推進	国際交流協会への支援	市民協働推進課	国際交流協会事業費の補助	②	B	創立30周年記念ワールドフェスティバルを実施し、世界各国の食や音楽などを通して、在住外国人と市内住民がお互いに国際理解を深める機会を提供できた。	事業数 11事業	事業数 15事業	事業数 8事業
	国際交流員を活用した国際交流の推進	市民協働推進課	オリパラレガシー事業における通訳・翻訳業務やその他団体への派遣	②⑦	B	オーストリア側との連絡調整やオンライン交流会時の通訳等を行った。また、市民団体主催のイベントにも参加し、市民の国際交流に対する関心を深めることができた。	派遣数 13件	派遣数 15件	派遣数 29件

(2) 市民が実践する「協働」事業の推進	自治会、地区自治会長及び自治会長連絡協議会への支援	市民協働推進課 西那須野支所 塩原支所	総務委員会、総会、自治会長研修会、視察受入、県自連事業参加、市との懇談会開催への支援を行った。自治会長への迅速な連絡のため地域ポータルを導入した。	⑤	B	支援により、自治会の負担を軽減し、自治会活動の活性化を図ることができた。	評価の実施 実施	評価の実施 実施	評価の実施 実施
	市民提案型協働のまちづくり支援事業	市民協働推進課	通常の募集に加え追加募集を実施し、多くの意欲的な市民活動団体等に補助事業を周知した。	②③⑤⑦	C	効果 新たに補助事業を知った団体からの応募があり、活用してもらうことができた。	各年度の 採択団体数 3団体	各年度の 採択団体数 8団体	各年度の 採択団体数 5団体
(2) 市民が実践する「協働」事業の推進	人権擁護委員協議会への支援	市民協働推進課	補助金を交付した、人権フェスタ、街頭啓発、人権の花事業など多くの事業に対して支援することが出来た。	⑦	A	人権の花事業では、多くの児童へ命の大切さ、相手への思いやりを感じていただくことが出来た。	補助金の交付 実施	補助金の交付 充実	補助金の交付 充実
	市民一斉美化運動	廃棄物対策課→ サーキュラーエコ ノミー課	市民による不法投棄物等の一斉清掃を実施 (春)令和5年5月28日 (秋)令和5年11月12日 参加者合計:32,278人	①⑤	C	多くの方々に参加をいただき実施することができた。地域の良好な環境維持に寄与することができた。	参加率 30%	参加率 35%	参加率 27.8%
	不法投棄通報	廃棄物対策課→ サーキュラーエコ ノミー課	市内のタクシー事業者、森林組合等と不法投棄通報の協定を締結しており、本年度も同協定を引き続き運用した。	④	B	事業者からの通報により、市内の不法投棄事業の早期是正を図ることができた。	苦情・相談 処理件数 94件	苦情・相談 処理件数 80件	苦情・相談 処理件数 138件
	集団資源回収事業	廃棄物対策課→ サーキュラーエコ ノミー課	集団資源回収登録団体に対し、回収した資源物の量に応じた交付金を交付(333件)	②⑤	B	ごみの減量化及び資源化に対する意識の向上が図られた。	登録団体数 123団体	登録団体数 125団体	登録団体数 123団体
	那須地域環境対策連絡協議会との連携	廃棄物対策課→ サーキュラーエコ ノミー課	同協議会の総会への出席等	⑤	B	同協議会との環境問題に関する情報共有、意見交換を図ることができた。	活動の支援 実施	活動の支援 充実	活動の支援 実施
	地域防犯活動支援事業	生活課→ 交通防犯課	市内で自主的に防犯パトロール等を行い、犯罪を未然に防ぐための活動を実践する団体に対し、防犯活動に要する経費への一部補助を行う。	②⑤	C	補助対象経費を拡充したことで、利用団体数が増加した。 しかし、犯罪認知件数が増加しており、目標値を大きく上回ってしまった。 コロナが5類に移行し、人の流れの活発化に伴い、全国的に犯罪が増加傾向である。	刑法犯認知件数 454件	刑法犯認知件数 420件	刑法犯認知件数 648件

(2) 市民が実践する
「協働」事業の推進

窓口用封筒の作成	市民課	事業者と協定(協定期間3年)を締結し、事業者が封筒を作成・提供	④	B	ゼロ予算で封筒を市民に提供でき、市をPRすることができた。	継続的な封筒作成 実施	継続的な封筒作成 充実	継続的な封筒作成 実施
オリジナル出生届・婚姻届・ 「よくある質問Q&A BOOK」 の作成	市民課	オリジナル出生届・婚姻届及び冊子「よくある質問Q&A BOOK」を作成・提供	④	B	ゼロ予算でオリジナル届出書及び冊子を市民に提供でき、市をPRすることができた。	継続的な冊子作製 実施	継続的な冊子作製 充実	継続的な冊子作製 実施
環境連絡会による施策の実施	気候変動対策課 →ネイチャーボジ ティブ課	11月に環境連絡会を開催し、次の事項について協議及び報告を行った。 ・気候変動対策計画の進捗報告について ・那須塩原市の環境施策について ・来年度以降の環境連絡会について	②③④⑤⑦	C	温室効果ガス排出量の目標値は、市民、事業者の画一的な取組では達成することが困難であり、環境に関する市民との協議の場ではあるが、計画の進捗報告など定例的な内容に終始することが多く、設置目的や所掌事務について形骸化していることから、今年度、廃止又は新たな組織化に向けた具体的な検討を行う。	新組織での 運営実施	新組織での 運営実施 実施	新組織での 運営実施 組織形態の 見直しを検討中
地域自立支援協議会との 連携	社会福祉課	・協議会(全体会)開催 2回 ・相談支援部会開催 10回 ※人材育成グループ8回を含む。 ・事業所部会開催 3回 ※就労グループ1回、子どもグループ1回を含む。 ※就労支援施設等による販売会11回開催(本庁舎及び西那須野支所) ・当事者部会開催 なし ※フリースペースは12回実施	②③④⑤⑥ ⑦	B	様々な機関・団体が構成される協議会全体会の開催をはじめ、専門部会の会議や各グループ活動等が活発に行われ、地域課題の抽出及びその解決策の検討を行うとともに、障害福祉施策の推進を図ることができた。	会議(全体会・各部会)及び各部会活動の計画的実施 実施	会議(全体会・各部会)及び各部会活動の計画的実施 充実	会議(全体会・各部会)及び各部会活動の計画的実施 実施
精神障害者福祉啓発事業	社会福祉課	那須フロンティアフォーラムの開催 日時:令和6年3月9日(土) 13:00~15:00 場所:那須塩原市図書館みるる 内容:映画『こどもかいぎ』上映会 参加者:41名	②	B	「こどもかいぎ」を通して、「対話の本質」や「対話する意味」について、改めて考えるきっかけとなった。また、「対話」を通じて、それぞれに「違い」や「個性」があることを理解することや、そういった「多様性」を受け入れることができる環境をつくることの重要性を認識することができた。	啓発事業開催 開催	啓発事業開催 充実	啓発事業開催 開催
敬老事業	高齢福祉課	自治会や老人クラブ等地域の拠点となる団体に対し、運営費補助金と運営支援を実施した。	①③④⑤	A	敬老事業を実施することで、地域住民の高齢者に対する敬老意識を高めることができた。	敬老事業 主催団体数 129団体	敬老事業 主催団体数 135団体	敬老事業 主催団体数 142団体
生きがいサロン推進事業	高齢福祉課	自治会や老人クラブ等地域の拠点となる団体に対し、運営費の補助と運営支援を実施した。令和4年度の補助金申請団体は55団体。※運営支援は全60団体に対し実施。 2団体の新規開設。	②⑤	B	サロンの運営や活動を支援することにより、高齢者をはじめとする地域住民の自治について、参加意識を高めることができた。	支援団体数 61団体	支援団体数 67団体	支援団体数 60団体

(2) 市民が実践する
「協働」事業の推進

介護支援ボランティアポイント事業	高齢福祉課	高齢者の社会参加・介護予防の推進を目的として、高齢者が介護保険サービス施設や事業所で行うボランティア活動を支援した。R5.3.31時点で活動登録しているボランティアは76人。	①③④	C	新型コロナウイルス感染症の流行以降、ボランティア受入先施設の受入制限が続いたことから、ボランティア活動自体が停滞している。	ボランティア登録数 181人	ボランティア登録数 187人	ボランティア登録数 76人
地域づくり型介護予防事業	高齢福祉課	48箇所の「住民主体の介護予防のための通いの場」にリハビリ専門職等を派遣し、いきいき百歳体操定着のための活動を支援	①②③④⑤⑦	A	地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携した地域づくりを進めながら、通いの場の定着化を図ることができた。	介護予防の通いの場の数 46か所	介護予防の通いの場の数 65か所	介護予防の通いの場の数 48か所
林道交通安全対策事業	農林整備課→農務畜産課	林道愛護団体が実施する草刈りなどの林道の保守活動に要する経費の一部を補助することにより、林道の安全な通行を確保します。	②	C	路肩の草刈りや側溝清掃の効果により林道の安全な交通が確保できた。	支援団体数 5団体	支援団体数 5団体	支援団体数 3団体
市民参加型違反広告物除却推進事業	都市計画課	市民参加による地域での違反広告物の除去活動(2団体において実施)	②	A	除却すべき広告物が減少した。	巡回の実施 実施	巡回の実施 充実	巡回の実施 達成
道路愛護事業	道路課→保全管理課	「道路ふれあい月間」や「道路愛護月間」等における道路清掃、道路沿いの草刈や枝切り(参加者:203団体、のべ59,299名)	⑤	C	自主的な道路環境の整備及び美化活動が住みよい地域社会づくりに貢献している。	実施団体数 194団体	実施団体数 216団体	実施団体数 203団体
河川愛護事業	道路課→保全管理課	各地区の愛護会が美化活動を実施(参加者:18団体、のべ1,003名)	⑤	B	自主的な愛護活動が河川環境の美化に貢献している。	河川愛護作業人数 912人	河川愛護作業人数 960人	河川愛護作業人数 1,003人
開こん記念祭PR事業	西那須野支所総務税務課→西那須野支所	開こん記念祭の意義等を周知するチラシの作成 ・ 28,950部 作成 ・ 28,750部 新聞折込み[4月14日朝刊] ボランティア団体による歴史の伝承(出張授業) ・ 4校 ボランティア団体による開拓足跡めぐり(案内) ・ 1回	②	C	チラシや広報物による周知や、ボランティア団体による子供たちへの歴史伝承が継続されていることにより、後世に開こん(開拓)について、伝承することができている。	ボランティアによる小学校・義務教育学校への開こんに関する出前授業の件数 2校	ボランティアによる小学校・義務教育学校への開こんに関する出前授業の件数 10校	ボランティアによる小学校・義務教育学校への開こんに関する出前授業の件数 4校

(2)市民が実践する「協働」事業の推進	無形民俗文化財保護事業	生涯学習課	指定無形民俗文化財保存会15団体のうち5団体に30,000円の補助金を交付した。未指定の無形民俗文化財保存会12団体のうち5団体に20,000円、1団体に70,000円、1団体に140,000円の補助金を交付した。	②⑤	C	補助金を基に活動を再開する団体が増え、昨年度より交付団体数が増えた。	保存団体数 15団体	保存団体数 15団体	保存団体数 15団体
	創作劇「那須野の大地」	生涯学習課	劇団なすの「那須野の大地」 開催日：令和5年9月2日（土） 夜公演 令和5年9月3日（日） 昼公演 場所：GUNEI三島ホール 内容：市民劇団「劇団なすの」による那須野が原の開拓を描いた創作劇	①②③	C	市民や子供たちが、中心となり演劇を行うことで、幅広い世代に開拓の歴史を伝えることができた。	観覧者数 未実施	観覧者数 800人	観覧者数 533人
	子供会育成会支援事業	公民館	事務局を担っている旧黒磯の公民館において、育成会活動に必要な各種手続きの窓口として、円滑な活動に寄与した。	⑤	A	各地区子供育成会に対して必要な手続きを行うことができた。	評価の実施 （年1回） 充実	評価の実施 （年1回） 充実	評価の実施 （年1回） 充実
	公民館まつり	公民館	令和元年度振りにコロナ禍前の規模で公民館まつりを開催することができた。利用団体による成果の発表の機会であり、来場者については芸や文化に触れる機会となった。	①②⑤	B	4年振りのコロナ禍前と同等規模の開催であったため、賑わいを取り戻した。一方で、コロナ禍を転機に活動廃止した団体などもあったり利用者数増に対する課題は残る。	参加者数 未実施	参加者数 20,000人	参加者数 11,850人
	地域学校協働本部事業	公民館	全ての公民館において、地域と学校が一体となって子どもたちの成長を支えていくため、学校、地域、公民館の相互の連携・協働の下、各公民館に配置している社会教育指導員が中心となり様々な事業を展開できた。	①⑦	B	新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下げられたので、コロナ禍前と同規模で支援ができた。課題として、多くの参加者を募るため、情報提供や募集方法を効果的に行うことが必要である。	参加者数 13,533人	参加者数 26,000人	参加者数 17,224人
	スポーツ協会への支援	スポーツ振興課	生涯スポーツの振興、各種市民大会・教室等の開催支援、加盟団体相互の連携融和	①⑤⑦	C	新型コロナの影響が減少し、市民に対する各種スポーツ事業を以前のように展開できた。	評価の実施 実施	評価の実施 実施	評価の実施 実施
(3)「協働のまちづくり」推進体制の確立	市民活動センター利用者協議会への支援	市民協働推進課	市が主催する各種事業における連携促進のほか、協議会が主催する交流会を開催した。	②	C	効果 会員の活動を紹介・発表し、互いの活動を知ることで、新たなつながりと協働の形を見出す機会となった。	協議会主催の事業実施 未実施	協議会主催の事業実施 実施	協議会主催の事業実施 実施